

【2021年度】事業所向けサービス自己評価表（児童発達支援）

調査実施年月

2021年12月

事業所

ハッピーライフみなみおおさか

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		適切である、又活動室とクールダウンの区切りを適切に分けてもいる。	
	2 職員の配置数は適切であるか		○	支援の質を確保できるように、職員を配置している。	重度心身障害児や児童発達児童の中でも、児童一人で行動できない児童も多くいる為、指導員を増やす必要があると考える。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	日々児童が必要としている物や用具「支援・療育」の関わりの中で、事業所内で必要な物は、取り付いたり・購入したりしている。	バリアフリー化については設備不足と感じる所がある。
	4 清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		日々の清掃を欠かさず行い、児童が安全に過ごせる環境作りを行っています。新型コロナウイルスの感染対策として、「消毒・換気・事前での健康チェック表・検温」を徹底しておこなっている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		「業務改善・事業所計画・日々の活動」にもPDCAサイクルを用い、日々より良い支援療育を行えるよう業務改善が適切に効果をあげられるようおこなっている。	
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者様の「ニーズ・お声掛け・アンケート」などを用いて、より良い事業所作りに努めている。	
	7 支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		アンケート調査の結果をホームページにて公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者による外部評価は行っていないが、社内での各事業所評価をおこなっている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		日々、「職員研修・放課後等児童発達事業所による行動研修」にも日々参加をおこなっている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		契約時や定期的な面談の中で、ニーズを聞き取りや相談支援事業所とのコンセプトの一本化を行い、個別支援計画に反映させている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		「アセスメントシート・日々の保護者様のお話・事業所本人様の行動・幼、保、小学校先生からの本児の行動」を伺い、児童の状況把握に努めています。また、必要に応じて「ヴァインランド・ツアー」などのツールを使用しています。	
	12 個別支援計画には具体的な支援内容が設定され、また計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画を具体的な内容で検討、作成し、計画を基に支援をおこなっている。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		定期的にミーティングを行い、児童のニーズからさまざまな事を吸収できるような、活動の案や取り組みについて検討している。	
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		平日と休日、長期休暇の活動を差別化し、メリハリのある活動内容にしている。	
	15 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		季節に応じた催しを考え、活動に応じて様々な工夫をおこない支援内容に繋がる内容を提供するようにしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	○		児童1人1人のニーズ・課題を用いて活動は作成しており、その中で個別支援計画も作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		事前の打ち合わせや当日の打ち合わせなど支援内容の役割分担その他の考えられる、良い点悪い点を分析し常により良いものになるよう確認をおこなっている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終業前に終礼を行い、児童の様子、気づきなどを振り返りをおこない共有している。	
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		一日の活動終了後に個人の記録を行い、共有を図っている。	
関係機関や保護者との連携	20 定期的にもモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		月1から2回行っている。	
	21 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		全職員にガイドラインの周知をおこない、「児童のニーズに応じた適切な支援の提供と支援の質の向上・関係機関、団体や保護者との連携・身体拘束への対応・衛生管理、健康管理・安全確保・秘密保持」など複数を考え支援をおこなっている。	
	22 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必要に応じて、担当者がケース会議・担当者会議に参加している。	
	23 【児発】移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		ケース会議や会議場にて情報を共有したり、日々電話などのやり取りなどで除法共有・相互理解を図っている。	
	24 【児発】移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		ケース会議や会議場にて情報を共有したり、日々電話などのやり取りなどで除法共有・相互理解を図っている。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25				
	26				
	27				
	28	○		地域での事業所の集まり研修を受けるようなスーパーバイザーとしての連携をおこなっている。センター主催の研修会などへの参加を積極的におこなっている。	
	29				
	30	○		保育園や認定こども園障がいのない児童との交流の場を作ろうとしていたが、コロナウイルスの感染拡大に伴い、実施できていない。	
	31	○		参加している。	
32	○		毎日の「送迎時・連絡帳・電話」にて児童の状況を伝え合い共有している。		
33	○		発達障害者の親が自分の子どもの行動を理解し、発達障害の特性をふまえたほめ方やしかり方を学ぶための支援をおこなっている。		
保護者への説明責任等	34	○		見学時や契約前に説明を行い、理解を得る様にしている。	
	35	○		保護者の悩み等にきめ細やかに対応できるように保護者への声掛けをおこなっている。	
	36	○		保護者が集まり、交流を持てる機会を作り、保護者同士の情報共有の場を作ろうとしていたが、コロナウイルスの感染拡大に伴い、実施できていない。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	○			受付担当者、責任者の体制を整備し、管理者や責任者が敏速に対応できるように努めている。
	38	○			「ホームページ・事業所のブログ・毎月お便り」により、活動の様子や情報発信をしています。
	39	○			「鍵付きの書庫への保存・外部への持ち出しをなし」など、取り扱いには十分に注意をしている。
	40	○			「情報の伝達方法・理解しやすい表示・拡大文字」などを意思疎通を図っています。
	41		○		地域住民を招待することは行っていませんが季節行事に応じて必要な内容を検討している。
非常時等の対応	42	○			各種マニュアルを策定し職員・保護者様に周知していただいている。
	43	○			消防署立会いのもと、定期的な消防訓練・台風時・地震時・火災時の訓練を行い、また、消防学習なども併せておこなっている。
	44	○			虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか
	45	○			契約時や定期的な日々の面談機会に、聞き取りを行っている。
	46	○			食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか
	47	○			ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか
	48	○			どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか
					個別支援計画にも記載させていただき、身体拘束に関する説明は行っている。身体拘束の書類も保護者様にサインしていただいている。